



第2会場 ● 2F 自由研修室

■司 会／伊藤 浩規 福岡県教育庁北筑後教育事務所 主任社会教育主事
中吉浩一郎 岡山市教育委員会生涯学習課 課長補佐

分科会の進め方

10:45~10:50

1 「関係育ち」の子育てひろば「ぼっかぼか」の思想と実践 -「親力」・「中高生力」のエンパワーメント-

10:50~11:20

桑田久美子(長崎県雲仙市 NPO法人子育てネットやまぼうしの会 理事長)

平成16年頃から始めた子育て支援グループの試行錯誤が実って、平成20年、雲仙市の市民提案事業に採択され「子育てひろばぼっかぼか」の移動型子育てひろば「ぼっかぼか」の活動を開始。活動の中心は、地域のボランティアで結成した「やまぼうしの会」。平成22年度からNPO法人として活動。活動の主眼は子育てに関わる人々の「関係育ち」である。参加している親や中高生・地域の当事者意識が向上し、力をつけて行くエンパワーメントこそが最大の成果である。

2 日野ボランティア・ネットワークが組織化した地域力 -災害に学ぶ相互支援の企画と実践-

11:25~11:55

松田 暢子(鳥取県 日野ボランティア・ネットワーク 事務局長)

平成12年鳥取県西部地震で被災した日野町では、全国から駆けつけてくれたボランティアの精神に接したことを契機に隣近所の枠を越えて「知らない人でも助け合える」新たな関係づくりが必要であることを認識し、日野ボランティア・ネットワークを組織化した。高齢者支援を中核の活動として様々な個人・団体に呼び掛け活動を展開する過程で新たな活動が生まれるなど地域力の向上を実感している。現在、会員数約40名、拠点を西部地震展示交流センターにおいて毎月第2土曜を定例活動日としている。

3 公民館で育った地域創造活動「夢講座」17年の成果と軌跡 -主催事業から自主活動を経て協働事業に展開した活動企画の未来課題-

12:00~12:30

中村由利江(広島県府中町 地域ボランティアグループ「夢講座」 代表)

「夢講座」の現在の機能は各種団体・個人との協働を可能にすることである。定例の企画協議・研修は月1回。内容により回数は変動する。成立した原案をもって公民館、小学校、図書館などに協働を働きかけている。具体的な活動内容は折り紙、そば打ち、ジャズコンサートの企画、子育て支援イベント協力など協働対象の要望に対応している。50代後半という人生の変動の中で今後の実践活動を模索している。